

東京工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		教科名	Introduction to Corpus Linguistics(教養ゼミⅠ)	
科目基礎情報							
科目番号	0100		科目区分	一般 選択			
授業の形式	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	一般教育科		対象学生	4			
開設期	後期		週時限数	2			
教科書/教材	参考図書: 「ベーシックコーパス言語学」(ひつじ書房) その他、授業内で適宜紹介する。						
担当者	関根 紳太郎						
到達目標							
コーパス言語学を活用しながら、言葉によって再現される<世界>のあらゆる事象・現象を解析することで、日本語・日本文化と英語・英語圏文化との違いが“見える”ようになり、日本語・日本文化と英語・英語圏文化が“わかる”ようになる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	コーパスを活用しながら、日英の文化的差異を数値的に検証できる		コーパスを活用しながら、日英の文化的差異を数値的にある程度説明できる。		コーパスを適正に活用できず、日英の文化的差異を数値的に評価できない。		
評価項目2							
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	言葉とは、ヒトの思考、信念、価値観等、認知した<世界>のカタチと考えられ、コーパスとは、そうした言葉のデータベース、つまり、言葉によって再現される<世界>を有限化したものと言える。本クラスでは、コーパス言語学的手法を活用しながら、そうした言葉によって再現される<世界>のあらゆる事象・現象を解析することを目的とする。						
授業の進め方と授業内容・方法	まず、コーパスの作成方法について学ぶ。次に、コーパス専用検索ソフト[コンコダンサー]の扱い方を習得する。さらに、適宜統計学にも触れながら、コーパスを活用した言語解析について考える。また、用例[記事内容等]分析についても検討する。最後に、設定した研究テーマについて、作成した自家製コーパスを用いながら口頭発表をする。						
注意点	履修条件 Reading、Grammar 等の英語基礎科目を受講していること。ある程度パソコンと統計処理に興味があることが望ましい。						
授業計画							
	週	授業内容・方法			週ごとの到達目標		
後期	1週	Introduction to Corpus Linguistics①			コーパスの概要をつかむ。		
	2週	Introduction to Corpus Linguistics②			コーパスの概要と関連事項を理解する。		
	3週	自家製コーパスの作成①			研究テーマに関するコーパスデータ資料を収集する。		
	4週	自家製コーパスの作成②			研究テーマに関するコーパスデータ資料を収集する。		
	5週	自家製コーパスの作成③			研究テーマに関するコーパスデータ資料を収集する。		
	6週	自家製コーパスの作成④			研究テーマに関するコーパスデータ資料を収集する。		
	7週	自家製コーパスの作成⑤			研究テーマに関するコーパスデータ資料を収集する。		
	8週	コーパスデータの仕上げおよび担当教員モデル発表			コーパスデータを完成させる。モデル発表を理解する。		
	9週	発表原案作成①(テーマの確定)			発表原案を作成する。		
	10週	発表原案作成②(途中でも担当教員へ提出)			発表原案を完成する。		
	11週	口頭発表: 機械工学科			コーパスを活用しながら、日英の文化的差異を数値的に検証できる。もしくは、他者の発表のねらいを理解する。		
	12週	口頭発表: 電気・電子工学科			コーパスを活用しながら、日英の文化的差異を数値的に検証できる。もしくは、他者の発表のねらいを理解する。		
	13週	口頭発表: 情報・物質工学科			コーパスを活用しながら、日英の文化的差異を数値的に検証できる。もしくは、他者の発表のねらいを理解する。		
	14週	口頭発表: 予備日①(授業予備日)			コーパスを活用しながら、日英の文化的差異を数値的に検証できる。もしくは、他者の発表のねらいを理解する。		
	15週	口頭発表: 予備日②			コーパスを活用しながら、日英の文化的差異を数値的に検証できる。もしくは、他者の発表のねらいを理解する。		
	16週						
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	100	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0